

# 4年作品解説

平面作品	<p>『ボンドで絵画』</p> <p>今回は木工用接着剤を使って絵をかくことに挑戦しました。‘‘アートに失敗はない’‘という富永ボンドさんの言葉や作品に励まされながら、芸術家になった気持ちで取り組みました。木工用接着剤は乾くと凹凸が楽しく、その隙間をパステルで丁寧に色を付け、作品を仕上げました。</p> <p>『写真から想像を広げて』</p> <p>気に入った写真を選び、そこから広がる世界を想像して描きました。ペンで細かいところまでしっかりと描き、にじみやぼかしなど、絵の具の使い方を工夫して色を塗りました。同じ写真を選んでも表現はそれぞれ、どんな世界が広がっているのでしょうか。</p>
立体作品	<p>『使って楽しい焼き物』</p> <p>初めて焼き物用の粘土を使って、小物入れをつくりました。ひもづくりという方法で、ひも状の粘土を巻き上げながら思い思いの形を表しました。ひも状の粘土をねじったり、好きな形をくり抜いたりしてつくった飾りにも注目してください。</p> <p>『ひみつきち』</p> <p>「小さな自分のひみつきちを作ろう！」から始めた木工作。様々な木切れの手触りや香りを楽しみながら、使いたい材料を選んでいきました。小さな自分に合うように形や大きさを工夫しました。「あつたらいいな。」がたくさんつまつたひみつきちを覗いてみてください。</p>
共同作品	<p>『沓掛小へようこそ！』</p> <p>今までの図工の学習を生かして、第一昇降口の窓をカラフルに装飾しました。沓掛小学校に来た方々の心が明るくなるように、色や模様を工夫しました。日が差した時には、素敵なかたちの影がたくさん現れます。様々な機会に見てみてください。</p>